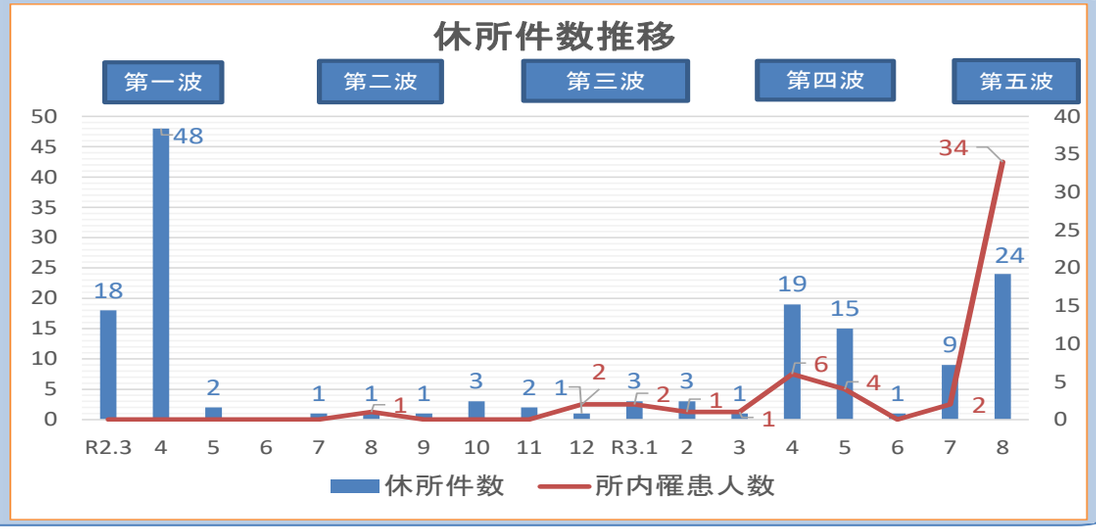
コロナ禍における放課後児童クラブ実施の現状

①休所の状況

〇 休所件数は緊急事態宣言が発出された令和2年4月が最大となり、所内での罹患は0人であったが、念のため休所するというところが多かった。
〇今年度4～5月は第四波の影響により所内罹患者が発生、休所件数が増加した。
〇8月はさらに所内罹患者が増え、これに伴い休所件数も増加。また、県内クラブで初めてのクラスターも発生した。



②環境の変化とそれに伴う課題、対応策 ＜市町村アンケート（R3.7.1）より＞

＜令和２年度当初からの環境の変化＞

悪い変化	・利用を控えていた児童が利用を再開し、人数が増加 ・児童の感染防止の意識が薄れている（マスクを外してしまう等） ・場所を増やし、分散保育をしているため支援員が多く必要となっている

良い変化	・抗ウイルスコーティングにより消毒を行う負担が減った ・空気清浄機の設置等により衛生面が向上した ・学校の教室を借りられるようになった

	＜発生している課題＞	＜取組事例＞
密	・児童が利用を再開したことで密になっている	〇食事や宿題をグループ分け 〇食事中の席を記録 〇感染対策の強化 ・水筒持参の推奨　・個包装おやつを提供 ・抗ウイルスコートを実施　・オゾン発生装置で滅菌 ・かわいい感染対策グッズを設置
長期化の影響	・長期化により児童・支援員・保護者にストレスや疲れがでている	――
	・感染対策意識が薄れ、食事中のおしゃべりなどが増えている	〇感染発覚時に備え、食事中の席を記録
	・マスク着用の習慣化により屋外での活動時には熱中症の心配がある	〇水筒持参の推奨 〇体育館を借りて遊びを実施
	・マスク着用の有無に関するトラブル	――
運営	・分散保育による人手不足	――
	・保護者の一部から行事再開の要望がある	――